

お知らせ：CYOの連絡先とスタッフの変更について
参加者募集：第12回アジア・スマートシティ会議への参加について
I. 韓国・仁川広域市の関係者がヨコハマSDGsデザインセンターを訪問
II. YOKOHAMAの明日をひらくワークショップが開催されました
III. ソウル市長が横浜を訪問
IV. 横浜市水道局国際貢献50周年記念事業



お知らせ

2023年3月末のCYOオフィスの同ビル内での移転と4月からの職員体制変更に伴い、下記の通り連絡先が変更となりましたのでお知らせいたします。

シティネット横浜プロジェクトオフィスの連絡先

- メールアドレス：citynetyokohama@gmail.com
- 電話：045-221-1214 FAX：045-664-7145
- 住所：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 横浜市協力センター6階



オフィス前で栗田所長（右）と山腰課長（左）

新所長及び企画課長就任について

- 2023年7月1日より、小野崎信之氏の後任として、栗田るみ氏が所長に就任しました。30年以上にわたる自治体勤務の経験を生かし、所長を務めます。栗田所長はCITYNETで、会員都市・企業・団体とのつながりを深め、さらなる繁栄に貢献したいと考えています。
- 2023年4月1日より、工藤由紀子氏の後任として、横浜市から出向し山腰章子氏が企画課長となりました。2013年に横浜市に入庁し、廃棄物処理や戸籍関係の部署に勤務。都市間連携による都市課題の解決や、シティネットによる開発事業への貢献に関心を持っています。

参加者募集

第12回アジア・スマートシティ会議（第12回ASCC）開催

シティネット事務局の協力のもと、2023年11月に横浜市主催で開催されます。シティネット会員であればどなたでもご参加いただけます。詳細は近日中にウェブサイトにて発表いたします。



ASCC QR code



第11回ASCCでの山中市長によるオープニングスピーチ

【ASCCの概要（予定）】

日程：令和5年11月13日（月）、14日（火）及び15日（水）

13日（月）：市内視察

14日（火）、15日（水）：テーマ別セッション、ネットワーキング・ビジネスマッチングイベント等

会場：パシフィコ横浜

開催形式：対面形式

参加方法：事前登録制・参加費無料（参加登録ページは10月頃に以下のウェブページに開設予定です）

問合先：

横浜市アジア・スマートシティ会議事務局：<mailto:ki-asca@city.yokohama.jp>

※ASCCのテーマ別セッションの一つとして、シティネットSDGsクラスターセミナーを開催します。カーボンニュートラルやVLR (Voluntary Local Review)などをテーマに、セミナーと現地視察を予定しています。詳細は後日お知らせします。

※この会議は、Y-SHIPコンベンションと併催されます。Y-SHIP (Yokohama Showcasing Highly Innovative Pioneers)とは、横浜市が主催する国際コンベンションで、世界各国から革新的なパイオニアを招聘し、地球規模の課題解決に取り組む国際会議です。詳しくは、Y-SHIPコンベンションのウェブサイトをご覧ください。

I. 仁川広域市の職員がヨコハマSDGsデザインセンターを訪問



持続可能な都市開発に関連するSDGsのベストプラクティスを共有するため、2023年5月24日、横浜市のパートナー都市であり、シティネットのメンバー都市である韓国・仁川広域市の関係者一行がヨコハマSDGsデザインセンターを訪問しました。総合コーディネーターの麻生氏による講演では、“SDGs 未来都市・横浜”の実現を目指す取り組みとして、横浜市の水源林の間伐材を使用するウッドストロープロジェクトなどの具体的事例が紹介されました。

横浜市の谷澤氏からは、横浜市のVLRの取組について紹介され、SDGsリーダーシップ都市ネットワークへの参加から得られたSDGsの実施に関する教訓が語られました。今後も、横浜市は国内外問わず幅広い方々にSDGsの発信を行うとともに、サステナブルな世界の実現に向けて積極的な活動を推進していきたいと意気込んでいます。



II. 子どもたちによるYOKOHAMAの明日をひらくワークショップが開催されました



横浜開港記念日の6月2日、横浜市役所に市内の小中学生が集まり、横浜の未来について語り合うワークショップが開催されました。みなとみらい本町小学校の生徒たちは、昨年制作した校歌を披露。また、校歌を作る過程で、モンゴルのウランバートルにある第23小学校と2回交流会を持つことができたことも紹介されました。この交流会はシティネットのユース・アクション・プログラムの一環として行われたもので、交流を通して、自分たちが嬉しいと思うことや思い描く未来が、自分たちと変わらないという気づきを語ってくれました。山中市長も出席され、子どもたちがそれぞれの活動を発表する

姿や、自分たちに何ができるかを真剣に考え横浜の未来について語り合う様子が大変頼もしく、胸が熱くなりましたと語っています。このような次世代交流の取組について今年も充実させ、来年以降も継続していきたいと考えています。

Ⅲ. ソウル市長が横浜を訪問



オ市長（左）と山中市長（右）

韓国・ソウル特別市のオ・セフン市長が6月23日に横浜を訪問し横浜市の山中市長と面会しました。オ・セフン市長の関心が高い都市デザインやみなとみらい21地区の開発、横浜市とソウル特別市が連帯してアジア諸都市の発展のために活動するシティネットなどについて、意見が交わされました。また、山中市長からは、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会についても紹介し、温暖



SUSAとYUSAの意見交換会

化対策や生物多様性に関する共通の課題への取組が呼びかけられました。今後も、両都市はさまざまな分野で連携・協力していきたい考えを示しました。また、ソウル都市ソリューション機構(SUSA)も訪問団として来日しており、同日にYOKOHAMA URABAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA)との意見交換会が実施されました。両者からアジア等の新興国諸都市における都市課題解決に向けた取組が紹介され、活発な意見交換がなされました。今後のSUSAとYUSAの連携に目が離せません。

Ⅳ. 横浜市水道局国際貢献50周年



横浜市水道局が国際貢献活動を始めて、今年で50周年を迎えました。7月10日には市庁舎で記念式典が開催され、横浜が取組む国際貢献活動を振り返りました。同局は1973年、アフガニスタンへ職員を派遣して以来、アフリカやアジア各国を中心に34カ国へ延べ400人以上の職員を派遣するほか、支援先からの研修員受入などを実施してきました。開発途上国の水事情改善に貢献するため、水道事業に関する技術やノウハウを伝えてきました。1999年から2012年には、シティネットとともにシティネット会員都市向けの研修プログラムを企画し、約90名の研修員を受け入れました。世界において安全な水の供給の重要性が高まる中、今後もSDGsゴール6の達成に向けて国際貢献を続けていきたいと意気込んでいます。

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 横浜市協力センター6階

TEL: 045-221-1214

E-mail: citynetyokohama@gmail.com



CITYNET Yokohama Project Office
supports the SDGs.